

第3部会(活力とにぎわいのあるまち)における意見の整理(事務局案)

No	施策	該当箇所	頁	ご意見等の内容	事務局(案)	区分
1	農業の振興	●生産基盤の整備・保全	72	有害鳥獣による被害は深刻さを増し、生産意欲の減退を招きかねない状況となっている。被害低減をめざした対策の重要性が原案に記載されているが、農業従事者の高齢化も進んでいることから、防護柵の設置の支援などについても、地域の実情を踏まえ、さらなる充実をお願いしたい。	<p>主要な意見として以下の内容で整理します。</p> <p>「有害鳥獣による被害は生産意欲の減退にもつながりかねないため、地域の実情を踏まえ、被害の低減に向けた取組のさらなる充実を努められたい。」</p>	主要意見
2	農業の振興	●農業経営の安定化	72	農業従事者の高齢化が進む一方、若者の新規就農を促進する取組が必要である。本市には県立農業高等学校が立地しているが、大学において農業を学ぶ場があれば、本市で農業を学び、就農する流れができるのではないか。そのために、兵庫大学に農学部を設立することが効果的と考える。	<p>主要な意見として以下の内容で整理します。</p> <p>「農業従事者の高齢化が進む中、若者の就農促進が重要となるため、市内大学への農学部設立を検討するなど、農業を専門的に学ぶ環境の整備に取り組まれたい。」</p>	主要意見
3	農業の振興	●農業経営の安定化	72	多様な担い手において、企業による農業は今後重要な要素である。また、経営の安定化に向け、コスト削減や労働の省力化を図るため、運搬の効率化をはじめとした農業の機械化を促進することも有効ではないか。	<p>主要な意見として以下の内容で整理します。</p> <p>「担い手不足に対し、営農組織の法人化や企業による組織的な農業経営はひとつの課題解決手法であるため、引き続き支援を継続されたい。」 「経営の安定化に向け、農業の機械化の促進など、有効な手法の調査・研究を進められたい。」</p>	主要意見

第3部会(活力とにぎわいのあるまち)における意見の整理(事務局案)

No	施策	該当箇所	頁	ご意見等の内容	事務局(案)	区分
4	全般			基本目標3「活力とにぎわいのあるまち」は、まちづくりの基本理念「ひと・まち・自然を大切にし ともにささえ はぐくむまちづくり」と将来の都市像「夢と希望を描き 幸せを実感できるまち 加古川」を実現するための5つの基本目標のうち、主に産業に関する部分である。 産業は雇用や税収をはじめ、まちの様々な部分に関わる重要な分野であるが、人口減少が続く中でどのように商工業者を増やすのかは大きな課題である。産業が増えなくとも施策で人口を増やしている自治体もあり、人口が増えれば、飲食業などの商業は活性化するはずである。加古川市のような大手企業が立地する都市は、良くも悪くも企業の経営状況に左右される部分があるため、産業の活性化には、人口増加のための施策をあわせて考える必要がある。	<p>主要な意見として以下の内容で整理します。</p> <p>「人口減少社会の中で、産業振興は雇用や税収を生む非常に重要な分野である。人が集まることは商業・サービス業の活性化にもつながるため、人口増加をめざす取組と一体的に対策を講じてもらいたい。」</p>	主要意見
5	農業の振興	●農業を通じた地域の活性化	72	見土呂フルーツパークについては、観光農園として特化し、レストランを高台に移設してはどうか。また、周辺の農地を子どもたちの農業体験の場として活用してはどうか。	<p>主要な意見として以下の内容で整理します。</p> <p>「見土呂フルーツパークの再整備にあたっては、景観を生かした飲食施設の充実などにより、さらなる集客が図られるよう取組を進められたい。」 「遊休農地等を活用し、子どもたちが農業に触れる機会の創出を図られたい。」</p>	主要意見
6	水産業の振興	●水産業経営の安定化	73	大濱の海苔などは加古川の特産品として頑張ってもらいたいと考えている。加古川で獲れる魚などを加古川産としてブランド化できないか。	<p>主要な意見として以下の内容で整理します。</p> <p>「水産業の振興に向け、地元産品のブランド化について検討を進められたい。」</p>	主要意見

第3部会(活力とにぎわいのあるまち)における意見の整理(事務局案)

No	施策	該当箇所	頁	ご意見等の内容	事務局(案)	区分
7	観光の振興	●観光資源の有効活用	77	臨海部の工場地帯を夜に海から眺めるツアーなどができればよいのではないか。 ※水産業の振興の中でのご意見でしたが、観光振興に関する内容として整理しています。	主要な意見として以下の内容で整理します。 (No.7、16、18を一括) 「市内観光の滞在時間の増加に向け、観光資源をネットワークでつなぐ、観光ルートの形成に努められたい。」	主要意見
8	工業の振興	●企業立地の促進	74	加古川北インターチェンジ付近に工場や物流倉庫を誘致してはどうか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 (No.8、9を一括) 「企業誘致については、工業のみならず、本市の交通利便性を生かした物流拠点の誘致を検討するなど、雇用の創出と地域の活性化に向けた取組を進められたい。」	主要意見
9	工業の振興	●企業立地の促進	74	企業誘致においては、工業だけでなく、新たな産業を誘致することも有効である。アマゾンや楽天などeコマースが主流になる中、物流センターの誘致は非常に大きな効果が期待できると思われる。	主要な意見として以下の内容で整理します。 (No.8、9を一括) 「企業誘致については、工業のみならず、本市の交通利便性を生かした物流拠点の誘致を検討するなど、雇用の創出と地域の活性化に向けた取組を進められたい。」	主要意見

第3部会(活力とにぎわいのあるまち)における意見の整理(事務局案)

No	施策	該当箇所	頁	ご意見等の内容	事務局(案)	区分
10	工業の振興	●企業立地の促進	74	工場敷地の緑地率緩和については、市内企業の事業拡大の大きな支援となるため、他市の状況をよく勘案し、検討を進めてもらいたい。	<p>主要な意見として以下の内容で整理します。</p> <p>「工場敷地の緑地率緩和については、市内企業の市外流出を防ぎ、事業拡大を促進する効果が期待できることから、前向きな検討を進められたい。」</p>	主要意見
11	地場産業の振興	●地場産業の活性化	75	市内の造り酒屋が減少し、今や岡田本家酒造のみとなってしまった。国包建具や靴下とあわせて、加古川ならではのものとして、もっと売り出してもらいたい。官と民で協力し、セールスを行うべきである。	<p>主要な意見として以下の内容で整理します。</p> <p>「加古川市の特産品の認知度向上、ひいては販路拡大をめざし、官民連携のセールス活動に取り組まれたい。」</p>	主要意見
12	全般			産業分野については、それぞれが連環しており、相乗効果を生み出す取組も多い。都市全体の人口問題との関連も深く、個別施策の枠に納まらないため、大きな方向性の中で記載できるような調整はできないか。	<p>原案を以下のとおり修正します。 (No.12、13、19を一括)</p> <p>P30 8章まちづくりの基本目標 3活力とにぎわいのあるまち 「農業や工業、商業等を振興するとともに、産業相互の連携による相乗効果を生み出し、活力とにぎわいのあるまちをめざします。」</p> <p>※NO.4の大庫委員の意見についても、考慮。</p>	原案修正

第3部会(活力とにぎわいのあるまち)における意見の整理(事務局案)

No	施策	該当箇所	頁	ご意見等の内容	事務局(案)	区分
13	商業・サービス業の振興 観光の振興		76 77	商業・サービス業と観光は不可分である。観光振興は必ず、商業振興につながる。	原案を以下のとおり修正します。 (No.12、13、19を一括) P30 8章まちづくりの基本目標 3活力とにぎわいのあるまち 「農業や工業、商業等を振興するとともに、 産業相互の連携による相乗効果を生み出し 、活力とにぎわいのあるまちをめざします。」	原案修正
14	観光の振興	●観光資源の有効活用	77	本市に埋もれた歴史文化資源の掘り起こしと活用が重要である。市民目線で本市の面白さを再発見し、観光拠点のハード整備を行っていききたい。拠点ができれば人が集まり、飲食や滞在、ひいては移住につながる可能性もあると考える。企業の歴史、鶴林寺、日岡山、升田山、JR加古川線、B級グルメ、加古川ゴルフクラブ、本市には可能性を秘めた資源がまだまだあるので、どんどん活用してもらいたい。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「観光拠点の整備においては、本市の資源を有効活用し、市民がわがまちの面白さを再発見できるよう、そして、他市からも人を呼び込むことができるよう取組を進められたい。」 「観光を起点とした人の流れの創出は、産業振興だけでなく移住のきっかけとなる可能性があることを意識し、取組を進められたい。」	主要意見
15	観光の振興	●観光資源の有効活用	77	民間企業と協力して、シティセールスをするべきである。市の知名度をもっともっと上げていかないとイケない。	主要な意見として以下の内容で整理します。 (6まちづくりの進め方とも関連) 「加古川市のPRやIRに向け、行政と民間企業が一体となったシティプロモーションに取り組みられたい。」 ※シティセールス・・・「市外に向けた取組」として整理 ※シティプロモーション・・・「市内外に向けた取組」として整理。 シティセールスもシティプロモーションも類似した意味だが、現在、加古川市では市のPRIについて、市民に対し、市の取組や資源についての認知度向上をめざしつつ、市外への発信に向けた取り組みを進めようとしているため、意見の整理においても、シティプロモーションの表現を使用する。	主要意見

第3部会(活力とにぎわいのあるまち)における意見の整理(事務局案)

No	施策	該当箇所	頁	ご意見等の内容	事務局(案)	区分
16	観光の振興	●観光資源の有効活用	77	別府港にコンチェルトのようなレストラン船を呼べないか。市内観光地の滞在時間が短い中、複数の観光地を巡ることで一日過ごせる観光ルートができればよいと考える。	<p>主要な意見として以下の内容で整理します。 (No.7、16、18を一括)</p> <p>「市内観光の滞在時間の増加に向け、観光資源をネットワークでつなぐ、観光ルートの形成に努められたい。」</p>	主要意見
17	観光の振興	●広域的な観光の推進	77	2市2町でご当地グルメフェスティバルを開催し、周遊させるなど、近隣市町と連携した取組を進めることも有効ではないか。	<p>主要な意見として以下の内容で整理します。</p> <p>「近隣市町と連携した観光振興に取り組みたい。」</p>	主要意見
18	観光の振興	●観光資源の有効活用	77	日岡山と升田山をつなぐ取組も面白いのではないか。日岡駅を拠点として、上荘、平荘、志方を巡るサイクリングやウォーキングルート形成することもよいのではないか。	<p>主要な意見として以下の内容で整理します。 (No.7、16、18を一括)</p> <p>「市内観光の滞在時間の増加に向け、観光資源をネットワークでつなぐ、観光ルートの形成に努められたい。」</p>	主要意見

第3部会(活力とにぎわいのあるまち)における意見の整理(事務局案)

No	施策	該当箇所	頁	ご意見等の内容	事務局(案)	区分
19	全般			基本目標3は非常に重要な項目である。加古川市が元気で、楽しく、住みたいと思えるまちであるためにも、産業や観光をどう刺激し、活性化していくか。人口問題も関係する、大事なところである。力を入れて、失敗をおそれずに取組を推進してもらいたい。また、新しいものを取り入れることもひとつの方法だが、今あるものをいかに活用するか、発信していくかが重要である。情報発信には特に力を入れて取り組んでもらいたい。	原案を以下のとおり修正します。 (No.12、13、19を一括) P30 8章まちづくりの基本目標 3活力とにぎわいのあるまち 「農業や工業、商業等を振興する <u>とともに、産業相互の連携による相乗効果を生み出し</u> 、活力とにぎわいのあるまちをめざします。」	原案修正